



市場営業統括部 チーフエコノミスト 山下えつ子

足元のマーケット動向、及び来週の見通し

<来週の予想ポイント>

ドル/円	やや上昇	・ 米国はまずは本日の雇用統計が重要。 ・ 来週は材料難。
ユーロ/円	レンジ	・ ユーロは金融政策への思惑ではレンジ入り。

	今週のレンジ	本日正午	来週の予想レンジ	今後3ヶ月の予想レンジ
ドル/円	81.31-82.75円	81.57円	81.00-83.00円	80.00-86.00円
ユーロ/ドル	1.3570-1.3862ドル	1.3638ドル	1.3600-1.3750ドル	1.3000-1.4000ドル
ユーロ/円	111.05-113.58円	111.23円	110.50-113.50円	105.00-120.00円

(今週のレンジは先週金曜日正午～本日正午、予想レンジは本日正午～来週金曜日正午)

エジプトにおける反政府の大規模デモの発生で、先週末から週初にかけて株安、債券高、ドル高。欧米から大統領の辞任要請が出される一方、ムバラク大統領自身は現時点では政権に留まる意向を示し、情勢は不透明である。今週末には再び大規模なデモが予定されているとのニュースもある。更に、この動きに触発され、3日にはイエメンでも大統領退陣を求めるデモが実施され、中東地域での広がりにも不透明感が強い。ただし、マーケットは今週半ば以降、落ち着きを取り戻している。

欧米の今週のマテリアルでは3日にユーロ圏でECB理事会が開催され、本日4日には米国の雇用統計が発表される。週初は地政学リスクで攪乱されたが、週半ば以降はこれらの材料へマーケットの視点も移ってきた。

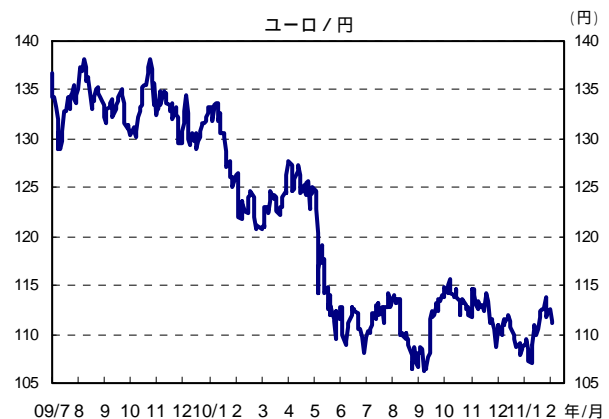
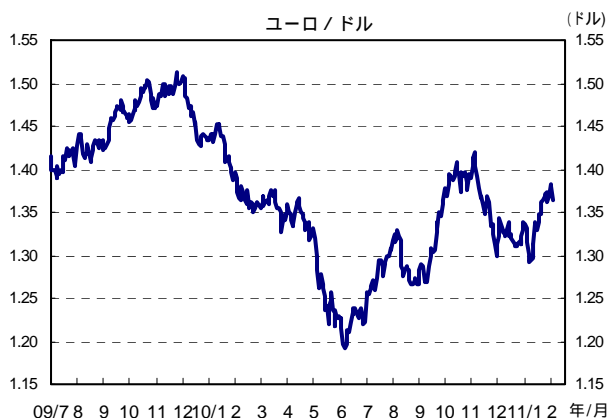
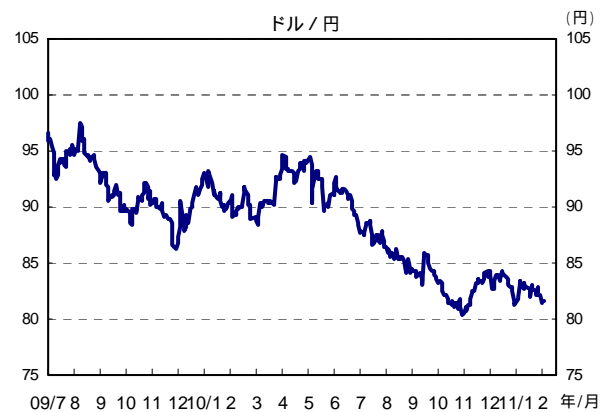
先月のECB理事会でトリシェ総裁がインフレ警戒トーンを強めたことから、以降、ユーロはじりじりと上昇、今週はECB理事会を前にユーロドルは1.38台半ばまで上昇した。しかし今回の会見で前回以上にアップビートしたコメントは出なかったため、ユーロは反落。春の賃上げ交渉を控え、ECBはインフレ率の上昇に連動した賃上げ 物価上昇の二次的波及に入ることを警戒している。インフレ警戒発言は賃上げに対する牽制だと考えられるため、インフレ警戒トーンが緩むことはなからう。だが同時に、ECBが現在のエネルギー・商品価格の上昇に対して即座に利上げを実施することもないと思われるため、利上げを取

- ・ FOREX WEEKLYに関するお問い合わせは、現在お取り扱い中の営業部/支店にお願い申し上げます。
- ・ FOREX WEEKLY は発行ホームページでもご覧頂けます。(<http://www.smbc.co.jp/> マーケット情報 外国為替情報 フォレックス・ウィークリー)

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成日現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客さまが投資のご判断をされた結果に基づき生じた損害・損失について当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客さまご自身で判断されるようお願い申し上げます。

り沙汰したユーロの上昇は一旦限界に近づいている(ユーロドルは過去1ヶ月で1.30割れから1.38台まで上昇)。来週のユーロは ECB の金融政策を巡る思惑では 1.36~1.38 のレンジ内で上下、レンジを抜ける要因はドルと地政学リスクになるう。

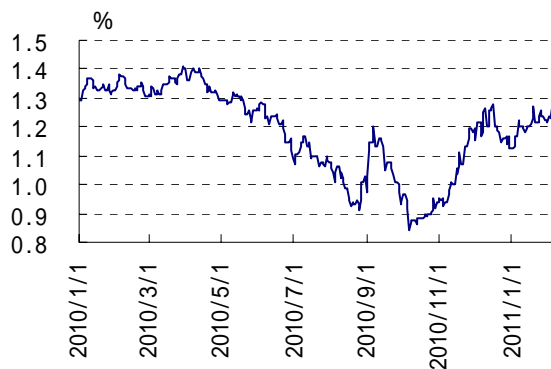
本日(4日)はマーケットの毎月のビッグ・イベントである米国雇用統計の発表がある。関連指標の製造業および非製造業 ISM の雇用項目は前回よりも改善。既に、企業が雇用を削減する動きは昨年秋から和らいでおり、焦点はどれだけ雇用が増加するかにある。ISM が示唆するのは、雇用にも改善の動きが見られることだが、バーナンキ議長が繰り返し指摘しているように、それで 10%近い失業率をどれだけ押し下げられるかが重要なのである。今回は 15 万人程度の非農業部門雇用者数の増加が予想されているが、この程度の増加では失業率は大幅には低下しない。金融政策(QE2 後はどうするのか)については未だ Fed から方針は示されていない。「景気の回復とゆっくりと低下する失業率、かたやグローバルにはインフレ圧力あり」、という状況に照らして QE3 に踏み込む必要性をどう考えるか、Fed 自身にも恐らく未だ答えはない。雇用統計の結果は金融政策に対するマーケットの思惑を伸縮させるが、Fed の方針が見えるまでは一方向のトレンド相場の形成は困難だろう。週間の予想でも、筆者は雇用統計を受けてドル買いの反応と予想するが、1 週間を通すとレンジ内、と考えている。



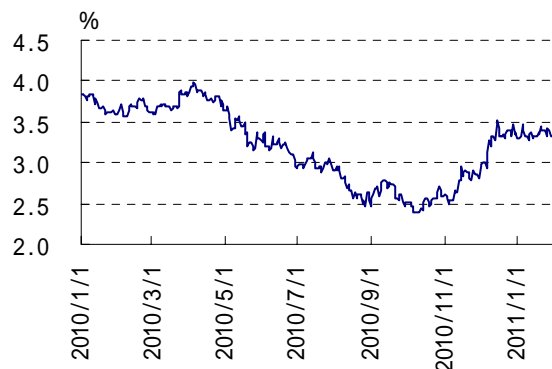
(データ出所: Reuters)

各種相場の動き

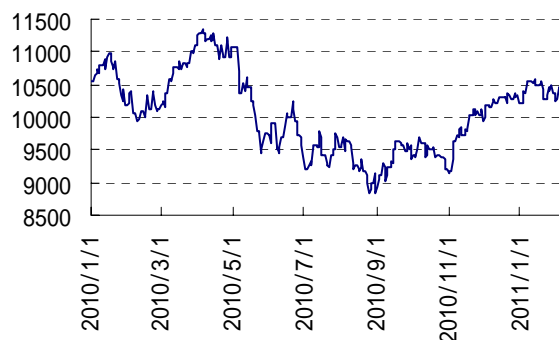
< 債券 (日本国債・10年債利回り) >



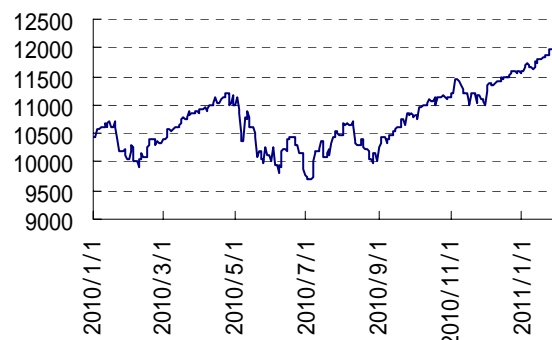
< 債券 (米国債・10年債利回り) >



< 株 (日経平均株価) >



< 株 (米ダウ) >



< 株 (上海総合指数) >



< 原油 (WTI 先物 (期近物)) >

